

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【公開番号】特開2019-5857(P2019-5857A)

【公開日】平成31年1月17日(2019.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2019-002

【出願番号】特願2017-124214(P2017-124214)

【国際特許分類】

B 2 4 B 45/00 (2006.01)

B 2 6 D 1/14 (2006.01)

B 2 6 D 7/26 (2006.01)

B 2 4 B 27/06 (2006.01)

H 0 1 L 21/301 (2006.01)

【F I】

B 2 4 B 45/00 A

B 2 6 D 1/14 A

B 2 6 D 7/26

B 2 4 B 27/06 M

H 0 1 L 21/78 F

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月8日(2019.2.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

スリーブ 1 5 の近位側には、吸着ユニット 2 とアーム部 3 とを連結可能なように構成されている連結部 1 1 が取り付けられている。連結部 1 1 は、連結部 1 1 の遠位側の突出部 1 1 a がスリーブ 1 5 の近位側の中空に嵌め込まれることによって、スリーブ 1 5 に取り付けられている。連結部 1 1 は、鉤状部近位面 5 c と向かい合う連結部内側近位面 1 1 b と、突出部近位面 4 b に向かい合う連結部外側近位面 1 1 c とを備えている。連結部外側近位面 1 1 c は、連結部内側近位面 1 1 b よりも近位かつ外側に位置している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

回転部近位面 6 b と近位側張出部遠位面 9 a との間で回転駆動部材 9 の周囲を取り囲むように第 1 バネ 1 6 が位置している。第 1 バネ 1 6 は、回転部近位面 6 b と近位側張出部遠位面 9 a との間の距離が変化することによって伸縮可能である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

次に、図 8 の模式的断面図に示すように、吸着ユニット 2 をさらに遠位側（スピンドル 2 1 側）に移動させるように、アーム部 3 を遠位側（スピンドル 2 1 側）に移動させる。このとき、ブレード 2 2 によって第 1 吸着部 4 は遠位側（スピンドル 2 1 側）から近位側（アーム部 3 側）に力を受けるが、第 3 パネ 7 が突出部近位面 4 b に接触して縮むため、第 1 吸着部 4 の移動は抑制され、ブレード 2 2 に対する過度の荷重が抑制される。そして、第 1 吸着部 4 の移動が抑制された状態で第 2 吸着部 5 が遠位側（スピンドル 2 1 側）に移動し、第 2 吸着部 5 の遠位側の第 2 吸着部遠位面 5 d が遠位側フランジ 2 3 と接触する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2 5】

【図 2 5】

